



いちのへ社協だより

# ゆいっこ

## CONTENTS

民生委員児童委員	2
納入実績報告・歳末たすけあい運動	3
できごとフラッシュ	4~5
つながる地域つなぐて・と・て part 4	6
社協からのお知らせ	7
相談日程表 etc	8

vol. 99

2020/3/27 発行

題号"ゆいっこ"は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。



こんにちは

# 民生委員児童委員 地域の身近な相談役

令和元年12月1日に民生委員児童委員の任期満了に伴う、全国一斉改選が行われました。

平成も終わり令和となった現在、価値観の超多様化に伴い地域社会のあり方も大きく変わり、地域で泣いている子供を見ても「大丈夫？」と声をかける事にさえ怖さを感じます。『相談』される。それはいつも近くに居た、良い意味で「お節介さん」になる事。これこそが地域社会活動の最初の一步。1人の少しの思いと行動で地域は変わります。



民生委員児童委員委嘱状伝達並びに一戸町社会福祉委員会委嘱状伝達式



総会後の歓送迎会にて、退任する委員への花束贈呈と新任役員の紹介が行われました。



1人で悩まず相談してみませんか！民生児童委員は関係機関への繋ぎ役になります。

民生委員制度は100年余りが経過。新たな100年を進んでいます。これからも制度への理解とご協力宜しく願います。

## 一戸町民生委員・児童委員一覧

No.	担当地区	氏名	No.	担当地区	氏名	No.	担当地区	氏名
1	越田橋	※	25	半在家・下小友	○東山 智	49	田子	立花 聡
2	八幡町	平井 郁子	26	袖子田・中里2	工藤 ユキ	50	火行・田中開拓	土坂 栄子
3	下町	三崎 松一	27	中里1・赤屋敷	○館 京子	51	姉帯1(侍村・野馬鹿・川久保)	※
4	小井田	※	28	泉田・月館稲荷・赤屋敷	永田 房子	52	姉帯2(門前・鬼淵・馬場)	昆 清一
5	横町・中町	市澤 昭治	29	大屋敷・上月館	荒屋敷 和子	53	姉帯3.4(下村・名子根・上里)	瀧澤 次男
6	上町・北館	○齊藤 吉夫	30	岩清水・泉沢	泉久保 義昭	54	面岸・面岸開拓	○田村 晴彦
7	袋町1	熊澤 与徳	31	出ル町・与羽	向久保 サナエ	55	奥中山1	中 篤 弘身
8	袋町2	○袋 龍太郎	32	平船・檜山	中村 育子	56	奥中山2.3	福田 勝
9	向町	千葉 隆正	33	双畑	○下谷 悦夫	57	奥中山4	白畑 幸雄
10	野田・野田坂	田代 ヒサ子	34	来田	下坪 義勝	58	摺糠・切掛・軽井沢	○中 篤 新
11	中道・永代町	峠 由美子	35	八木沢	田村 正人	59	宇別	西 館 重昭
12	中田	八 森 百合子	36	川原田平・悪戸平	鈴木 昭二	60	旧中山・釜石	釜石 文雄
13	古館平	安江 幸子	37	過利石・滝ノ沢・中野平	柴田 正栄	61	笹渡・二戸郷・家向	○坂本 登
14	樋ノ口・小滝	門馬 久子	38	沢田	三崎 稔	62	日蓄・岳川・豊ヶ丘	松野 あい子
15	西法寺	大澤 アキ子	39	田中・子守・地切	山田 文男	63	上下田子・袖ヶ沢	早坂 隆
16	稲荷	鳥海 洋子	40	中瀬・野崎・中村・野磯	三合堂 桂子			
17	駅前・諏訪野	小野寺 多美子	41	小姓堂女鹿口・川又・野中	女ヶ澤 富士雄			
18	元諏訪野	米田 キヌ	42	穴久保・女ヶ沢	岡田 敏夫			
19	関屋1	畑 中美枝子	43	野里・中屋敷	家子 美奈子			
20	関屋2女鹿口	田村 みえ子	44	仁昌寺	大欠 まり子			
21	女鹿・下女鹿	○女鹿館 千福	45	居也・中村・道地・駒木	中村 章三			
22	上女鹿	○中崎 敏美	46	高屋敷・若子内	高屋敷 亮			
23	蛇ノ島・上小友・大谷地	後 反正 美	47	平糠1.2.3(落合)4.5	○柿木 のり子			
24	小友1・2	○釜谷 一美	48	小繋	○立花 五十三			

### 主任児童委員の部

No.	氏名
1	南 館 富子
2	○西 條 せい子
3	大 欠 清 身

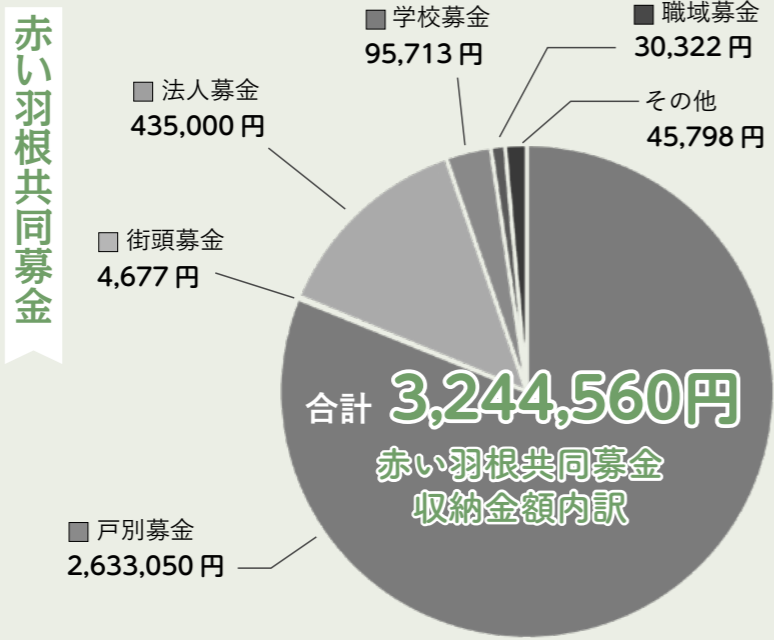
任期令和元年12月1日～令和4年11月30日  
事務局一戸町民生児童委員協議会(社会福祉協議会内)

○は新任 ※欄地区は人選中

# 納入実績報告

令和元年度赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

～皆さまからのあたたかいご協力ありがとうございました～



## 赤い羽根共同募金

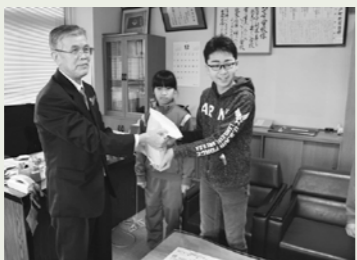
集められた募金は、若手県共同募金会に納めました。その後、申請により、令和2年度に各福祉団体に配分金が交付されます。

一戸町社会福祉協議会では、めもと長寿祝い品贈呈事業、ふれあいいきいきサロン事業、広報誌発行事業、シルバースポーツ大会開催事業などに使わせていただきます。

----- 小中学生は校内募金活動、高校生は街頭募金活動に取り組んでくれました。 -----



小鳥谷小学校



一戸小学校



奥中山小学校

## 歳末たすけあい募金配分内訳

生活困窮世帯(60件)	370,000
寝たきり高齢者(53件)	265,000
ひとり暮らし高齢者(435件)	1,522,500
高齢者夫婦世帯(83件)	415,000
認知症高齢者(13件)	65,000
母子・父子世帯(23件)	115,000
障がい児・障がい者(6件)	30,000
子育てサークルいちばび、地域子育て支援センターのびのび(2件)	60,000
配分事務費	130,000
社会福祉協議会地域福祉活動事業費	203,370
<b>合計</b>	<b>3,175,870(円)</b>



地域子育て支援センターのびのびの活動に役立つ様子

皆様からいただいた義援金総額3,175,870円は、上記のとおり町内の要援護世帯などへ、民生委員を通じ歳末激励金として配分いたしました。

皆様の本運動へのご理解とご協力に対しまして、関係者一同心から厚く御礼申し上げます。

## 歳末たすけあい運動

長生、? 楽しいものがあつたね、来年も元気でいたいと思ひます。どつちもあつたかた、さざいしました。

心あつたよ、支援ありがとう、ごさいます。大切に使用させていただきます。

毎年、みはまの温かいお返しに感謝しております。ありがとうございます。

生まれ育ち一戸町で、皆様にあつた生活できることの有り難さをもみみゆかあります。ありがとうございます。

ママにちの「これがあると嬉しい」という物に、使わせていただくことにしました。これからは、子育てや生活の情報交換、ママ達のチャレンジの場、そして忙しいママのリラックスできる場になるようなサロンづくりを目指していきたいと思ひます。本当にありがとうございます。

## ふれあいいきいきサロン開催中

〔平糠／姉帯〕

ばあばの会（海外和子代表／平糠）は、令和元年11月19日に平糠第1集会所で正月飾り作りを行いました。御所野縄文博物館より講師を招き、参加者同士協力し合いながら縄をなつて、木の実や葉で飾りを付けて…。1人1つ思い思いの作品を完成させました。笑おう会（昆清一代表）は、令和2年2月27日に姉帯多目的集会所にて令和元年度慰労会を開催しました。この日のメニューは豚汁、おにぎり、お浸し、酢の物。みんなで作り、食べて、褒め合つて、笑顔になつて。来年度も元気に活動を続けていきたいと思います。



平糠地区サロンばあばの会の皆さん。個性豊かなしめ縄完成です。



姉帯で採れた野菜をふんだんに使った姉帯地区サロン笑おう会の皆さんによる調理の様子。2/27の昼食。

## 奥中山地区スノーバスターズ出動

1月7日、8日の2日間、奥中山地区スノーバスターズ事業を行いました。今年度は奥中山中学校生徒延べ30名程の協力で、一人暮らし高齢者宅7件と介護予防拠点施設お達者かあーんの雪かきを行いました。奥中山地区スノーバスターズは1993年から27年間続いており、地域住民相互の助け合いが重要視される今、更なる発展を目指して活動を支援していきたいと思えます。



雪の降る中、一生懸命活動していただきました。

## 車いすが寄贈されました

1月23日、公益社団法人「小さな親切」運動岩手県本部車椅子寄贈式が行われ、一戸町を含む県内3か所の市町村社会福祉協議会へ、車椅子が1台ずつ寄贈されました。今回寄贈された車椅子は、通院時移送支援サービス事業や車椅子無料貸与事業等へ活用しています。ありがとうございました。

「小さな親切」運動岩手県本部による車椅子 寄贈式



ふれあいランド岩手にて寄贈式典が開かれました。

## 岩手県立大学生による子ども向けワークショップ

inいちのへ手しごと市

令和元年11月23日、24日に、萬代館でいちのへ手しごと市が開催されました。出店するクラフト作家も来場者も若い女性が多く、中には小さなお子様連れの方も。そこで作家も来場者も安心してイベントを楽しめるように、町内外の子どもたちもたくさん来場してもらえると、岩手県立大学生ボランティアRapportによる子ども向けワークショップが行われました。折り紙、工作、キッズネイルなど子どもたちは大はしゃぎ。イベント終了後には、出店したクラフト作家から学生へ感謝の声がかれました。



老若男女問わず多くの来場者で賑わった「いちのへ手しごと市」



学生ボランティア Rapport の2人とワークショップを楽しむ子ども達

## 一戸南小学校キャップハンディ体験

1月28日、一戸南小学校4年生を対象にキャップハンディ体験を行いました。今回はアイマスクや白杖、車椅子を用いて、身体の不自由な方の日常生活における障害を体験しました。体験を終えた生徒からは「思っていたより大変だった」「困っている人がいたら助けてあげたい」との感想を聞くことができました。この体験が障がい者、高齢者理解へつなげていくことを期待しています。



初めて触れる白杖に興味津々



目隠しをして車いす体験をする児童

## 祝100歳のお誕生日

2月18日に100歳を迎えられた石嶋菊五郎さんと、3月9日に同じく100歳を迎えられた稲森富藏さんの百寿を祝う会をそれぞれ自宅にて行いました。

一戸町からは敬老年金とお祝いの花束、一戸町社会福祉協議会からは記念品が贈呈され、ご家族も一緒に長寿を祝いました。

同じ西法寺諏訪野にお住まいで、今も元気に自宅で暮らされているお二人。いつまでもお元気で過ごして下さい。



花束や記念品を手にご家族と並び祝福を受ける石嶋菊五郎様



稲森富藏様

## 福祉バザー大盛況

一戸町体育館で2月7日、福祉バザーを開催しました。町民の皆様から提供して頂いたバザー品を一戸町婦人会の方々の協力で販売しました。今年度バザー収益金は88,897円で、これは一戸町社会福祉協議会が実施する地域福祉事業費に充てさせていただきました。皆様のご協力ありがとうございました。



悪天候にも関わらず多くのお客様で賑わいました。

# 社協からののお知らせ

**日本赤十字社活動資金増強運動がスタートします!!**

令和2年度日本赤十字社活動資金増強運動が、5月1日より全国一斉にスタートします。皆様から頂く資金は、日本赤十字社が行う献血活動、災害救助活動などに役立てられます。4月末～5月にかけて、各地区行政連絡員または班長が各世帯を訪問しますのでご協力の程お願いいたします。

**事務局:** 日本赤十字社一戸町分区分  
(一戸町社会福祉協議会内 / ☎ 33-3385)



2月13日に一戸町民文化センターで行われたバレンタイン献血活動の様子

**在宅高齢者の介護保険サービス利用についてご相談ください**

一戸町社会福祉協議会では、高齢者の方々が介護が必要になってもご自宅での生活が続けられるように介護保険サービスの利用をお手伝いする「居宅介護事業」を行っています。在宅高齢者の介護保険サービス利用に関してお困りのことがございましたら、お問い合わせください。  
**問い合わせ先**  
一戸社協指定居宅介護支援事業所 / ☎ 33-3621

**オレンジカフェさくらの会のご案内**

認知症の方もそうでない方も、気軽に立ち寄りお茶を飲みながら、元気に地域で暮らし続けるためのサポートをします。お気軽にお立ち寄りください。  
**日時:** 毎月第3土曜日 午後1時00分～午後3時00分  
令和2年4月18日(土)、5月16日(土)、6月20日(土)  
**場所:** 一戸町コミュニティセンター視聴覚室  
**参加費:** 100円  
**問い合わせ先**  
一戸町地域包括支援センター / ☎ 32-3700



**通院時移送支援サービスの運営ボランティアを募集します**

一戸町社会福祉協議会では、介護を要する方の通院時移送支援サービス運営ボランティアを募集します。お申し込み、お問い合わせは下記までご連絡ください。

**資格:** ①普通自動車第二種免許所持の方  
②自家用有償運送運転者講習を受講された方または受講可能な方(2日間程度)  
いずれかに該当する方で70歳未満の方  
**締め切り:** 令和2年4月10日(金)  
**申し込み/問い合わせ**  
一戸町社会福祉協議会内 / ☎ 33-3385

**令和2年度各種「社協の保険」の受付を開始します**

一戸町社会福祉協議会では、ボランティア活動やサロン活動等を行う個人や団体に対して、令和2年度各種「社協の保険」申込受付を4月1日(水)より開始します。  
**保険の種類:** ボランティア活動保険 / ボランティア行事用保険 / ふれあいサロン・社協行事傷害補償 / 福祉サービス総合補償 / 送迎サービス補償  
**問い合わせ先**  
一戸町社会福祉協議会内 / ☎ 33-3385

**地域活動でお困りのことはありませんか?**

「町内会で研修会をしたいが内容や講師に困っている」「新たに地域でサロン活動を行いたいけどどう始めたらよいか?」「地域活動を活発にしたいが人手不足だ」…こんな悩みはありませんか。  
住み慣れた町でいつまでも生活できるよう、生活支援コーディネーターや認知症地域支援推進員が地域活動のお手伝いを行います。町内どこでもかけつけます。ご相談ください。  
**問い合わせ先**  
一戸町社会福祉協議会内 / ☎ 33-3385



# つながる地域 つなぐて・と・て part4

子育てサークルいちはぴ / 子育てフリーペーパー NOHEBA(ノヘバ)/CURROズholiday

かつて一戸では当たり前だった活気ある地域づくり、誰もが自然に手を差し伸べ支え合い助け合える地域づくり…そんな光景を再び一戸に取り戻したい!! 社会福祉協議会は、住民が手と手を取り合い支え合う地域づくりの実現を目指しています。このページでは町内の住民主体による地域活動によって、地域が元気になる様々な「つながり」が生まれていく様子を毎号シリーズで紹介していきます。



子育てサークルいちはぴのお下がり交換会の様子。

少子化、衰退する商工観光、一緒に遊び悩みを共有できる友達がいらない、子ども連れて外出できる場所がない等様々な悩みを抱える子育て世代のお父さんお母さん。  
そんな悩みを、「自分たちで解決しよう」「住んで楽しい町を作ろう」と立ち上がった一戸町のママたちがあります。  
子育てサークルいちはぴ(代表ママノダラドン和美さん)は、町内と近隣市町村に住む子どもとママとプレママ(妊婦)の情報交換、居場所づくり等を目的として昨年9月に設立されました。不要になった子ども服を持ち寄り、欲しい子ども服があれば無料で持ち帰られるお下がり交換会は、いちはぴの目玉イベントです。

せっかく住むなら  
楽しい町がいい!

それぞれ活動に参加するママたちは、もともと一戸町に住んでいた人、就職や結婚等を機に引っ越してきた人、Uターンで戻ってきた人等様々です。どのママたちも子育てを始めて、自宅以外に居場所がなく、ひきこもり泣いていた経験があるといえます。  
そんなママたちも、今までより自分の居場所を自分で巻き込み、活動を展開しています。

手書きで個性的なデザインが目を引く、ママ友によるママ友のための子育てフリーペーパーNOHEBA(ノヘバ)を発行人菅原省子さん/澤藤有佳さんは、昨年12月より発行を開始しました。内容は子どもの習い事やお出かけスポットなど。毎号20名以上のママたち自筆のコメントで構成され、時間や場所にとられず誰でも主役になれるフリーペーパーです。  
「おしゃれ・癒し・人とのふれあいの時間を取りにくい山間地域のママたちへ」をコンセプトに活動するのは、CURROズholiday(代表ハンドメイド作家CURROさん)の皆さん。一戸町を含めた近隣市町村の作家やセラピストを巻き込み、活動を展開しています。

一人で抱え込まないで  
広がれ!ママ友ネットワーク!



ママ友によるママ友のための参加型フリーペーパーNOHEBA(上)と制作中のママたち(下)。発行部数は300枚。町内外23か所の公共施設や店舗等に配布しています。



2月6日に開催されたCURROズholidayのスタッフの皆さん。ママの体のケアは心のケア、スタッフとの会話に涙ぐむママも。

で選べるようになってきました。お互いの活動を紹介し合い、ママ友のネットワークで活動情報が広がりつつあります。  
活動の中心は異なっても、「子どものため、ママのため」「この町で楽しく子育てしたい」という思いは同じであるからこそ、お互いに連携し合い自然にネットワークができ、活動が発展しているのだと思います。  
一戸町の子育てに関する取組もまだまだ課題が残るところですが、これからも住民による自主的な取り組みを応援していきます。

一戸町 子育てサークル

いち はぴ

Instagram

ブログ

ママもパパもそうじゃない方も、子育てサークルいちはぴの活動をぜひ一度のぞいてみてください。

# 各種相談日程表

	法律相談	多重債務相談	くらしの相談窓口	ふれあい相談
開催日	4月14日(火) 4月28日(火)	4月21日(火)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み)
	5月12日(火) 5月26日(火)	5月19日(火)		
	6月9日(火) 6月23日(火)	6月16日(火)		
時間	10:00～15:00	10:00～15:00	8:30～17:15	8:30～17:15
場所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 23-5800 ※要予約		二戸市総合福祉センター TEL 43-3588	一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉センター内) TEL 33-3385

## 寄付御礼



(令和元年11月21日～令和2年3月19日取り扱い分)

### ◆一戸町社会福祉協議会への寄付

2月7日に行われた高齢者作品展売上金よりご寄付頂きました。

- ・一戸町母子寡婦福祉協会(会長高橋カヨ様)  
金 5,000円 也
- ・匿名 金 1,200円 也

当会事業利用者ご遺族様よりご香典返しとしてご寄付頂きました。

- ・匿名 金 3,000円 也

### ◆一戸町社会福祉基金への寄付

1月26日に行われたチャリティーショー収益金の一部をご寄付頂きました。

- ・一戸町文化協会(会長小野寺善一様)  
金 52,563円 也



一戸町文化協会小野寺善一会長

頂きましたご寄付は、町の社会福祉事業推進のため、活用させていただきます。ありがとうございました。

## 災害義援金募集のお知らせ



社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次の通り受付しております。頂いた義援金は岩手県共同募金会や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆さまのご協力をお願いいたします。

### 平成30年7月豪雨災害義援金

(受付期間：令和2年3月31日まで)

### 令和元年8月豪雨災害義援金

(受付期間：令和2年8月31日まで)

### 東日本大震災義援金

(受付期間：令和3年3月31日まで)

各種災害義援金については一戸町社会福祉協議会(TEL 33-3385)までお問い合わせください。



## 編集後記

新型コロナウイルスにより、家庭も学校も仕事も日常生活におけるすべてが想定外に動いた3月。一戸社協でも一部サービスを中止しているものもあり、ご迷惑をおかけしております。事態の影響が少しでも軽減されるよう、皆さんもメディアの情報に惑わされず、手洗いうがいの徹底などできることから実践しましょう。

このような状況ではありますが、まもなく新年度。夢や希望を胸に、進級進学を心待ちにする子どもたちの声が聞こえています。同様に一戸社協も新年度大きく体制が変わります。1年間、広報をご覧いただきありがとうございました。今後も更に充実した内容で、住民の皆さんに地域の福祉情報をお届けできるよう努めていきます。(小野寺)

## 社会福祉法人一戸町社会福祉協議会

〒028-5321 一戸町一戸字砂森93-2(一戸町総合保健福祉センター内)  
TEL 0195-33-3385 / FAX 0195-33-2737  
ホームページ <http://ichinohe-shakyo.jp/>



## 表紙の紹介



子育てフリーペーパー NOHEBA ～ノヘバ～(発起人菅原省子様/澤藤有佳様)を執筆中の皆さん。子育て中のママなら誰でも、いつでも参加できて、何でも書いていい「フリースタイル」。町中で見かけたら、皆さんもぜひ手に取っててください。(P6参照)